春合宿：前穂北尾根、明神岳東稜

日程：２００９年５月２～５日

メンバー：斎藤（L）、小藤、野澤（記）

今年に入ってから怪我続きで山へ行っていない。でもGWにはどこかへ行きたいな！と思っていた。３月の例会の二次会で斎藤さんから、田中さんと明神岳東稜を狙っていると聞きすぐに手を上げた。最終案は、前穂北尾根＋明神岳東稜。田中さんは調子が悪く不参加になったが、斎藤さんと新人だが実は山の大ベテランの小藤さんと３人パーティー。問題は私の体力と膝の具合。膝の半月板に亀裂が入り、山へ行き始めたのが３週間前。大丈夫かな？と思いながらも行くことにする。

５／２（土）晴

２：００頃沢渡駐車場着。軽く入山祝いを行い眠りにつく。今日は涸沢泊、のんびりでいいやということで４：３０起床とした。５：５０のバスは満杯だ！リュックを膝に抱えながら座る。足がプルプルしだし意外

と辛い。

【上高地出発：赤パンでストレッチする小藤さんと武者震いする斎藤さん】

６：３０上高地出発。小藤さんはプラブーツだからとアプローチ靴で行く。途中で明神岳を見ながら、あれがV峰、その後ろがIV峰・・・・と話しながらあっという間に明神館着。雪が少ないか？

【明神岳：明神館より】

徳沢～横尾までは回り込むように行くので、明神岳と前穂高岳とどんどん景色が変わって行く。あれは前穂？などと言いながら、明日行けば分かるさなどと話しながら横尾まで順調に歩を伸ばす。

【横尾にて】

しかし、天気も良く暑い。私はボタボタと汗をかき、たらふく水を飲んではまた汗をかく。マラソンマンの小藤さんは流石だ、汗をかいていない。だから水も飲まなくて済むようだ。行動食も同様のようだ。
どうりで荷物も少ない。

本谷橋でアイゼンを付ける。小藤さんはここで漸くプラブーツを履く。しかしアイゼンは付けずに行くという。頑張れ！
涸沢小屋が見える。最後の登りの前に一服入れようと言われたが後少しと思い休まず突っ込んでしまった。これが今の私には命取り。中間部まで行かずにバテてしまった。ここからが長い。斎藤さん、小藤さんがお先にと行ってしまった。先に行って場所取りをしててよと言いながら、離されないようにと頑張る。しかし残念ながら足が前に行かない。かなり遅れて１２：５５涸沢小屋に着く。涸沢のテン場はほどほど賑わっていた。テント設営後は、天気が良いので外で大宴会。約２Ｌのビールとまたも過ぎたる水分摂取。小藤さんも絶好調で焼酎を啜っている。０．５Ｌ位飲んだ？
心地よい疲れの中で眠りにつく。明日は待望の前穂高岳北尾根だ。頑張るぞ！

５／３（日）晴
３：００起き、出発５：００。トレースを辿りながら五、六のコルを目指す。最初は何とかついていけたが斜度があがるたびに遅れる。

【五、六のコル？を目指す】

６人メンバーが上ってくるのが見える。追いつかれては大変だ。気合いを入れる。

６：０５漸くコル着。少し休憩後に五峰？へ取り付く。気をつけながらノーザイルで進む。五峰？を降りて四・五のコルで人に会う。その人いわく五・六のコルから上ってきたと言う。えっ？我々も五・六のコルからきたんですよ。ここは、三・四のコルですよと言ってあげて分かれる。次の四峰？を上ったところで間違っていたのは我々であることに気づく。どうやら六・七のコルへ上ったようだ。余計に楽しみが増えたと喜ぶ斎藤さん。流石にリーダーは心構えが違う。
慎重に歩を進める。７：２０五・六のコル着。四峰は奥又白側の雪壁を上り、上の大岩は涸沢側から回り込む。８：００三・四のコル着。三峰には２パーティーが取り付き、１パーティーが待っていた。既に４０分以上待っているとのこと。ザックを降ろし気長に待つことにする。３０分ほどで順番が回ってきた。斎藤Ｌがトップ、ベテラン小藤さんがラスト。練習不足の私は真ん中で行かせてもらう。１ピッチ目、途中で左へトラバースする部分で下が切れている。久しぶりのアイゼンなので怖い。慎重に進む。漸く１ピッチ目を乗り切る。ラストの小藤さんはあっという間に上ってきた。流石だ。２ピッチ目は小藤さんがリード。凹角を抜けチムニーを上る。

【三峰２ピッチ目　ビレー小藤、登る斎藤】

２ピッチ目の上部平坦部から１０mほど離れたところに雷鳥発見！何やら一生懸命啄ばんでいる。山で雷鳥を見るとホッとするのは久しぶりに会えた仲間意識か？余談だが、家に帰ってから餌と鳴声を調べてみた。「採餌は、消化しにくい樹木や草の葉、新芽、果実を食べる」「鳴声は、オスは「ガァァォォー」としわがれ声で鳴く。メスは「クックックッ・・」と鳴く。
三峰の最後はノーザイルでも行けそうだが、不安だったのでザイルを出す。これで３ピッチ目、斎藤さんがリードする。ここは、正面か？涸沢側か？悩む。トレースが右に見えたのでトレース通りに行く。しかし、意外と浮石が多い。ナッツ１個とハーケン１枚を打ち抜ける。ハーケン回収してくださいと言われたが、回収し忘れてしまった。斎藤さんごめん。上ってみたら、しっかりしたトレースが正面から付いており、より正解は正面だったことに気づく。ハイライトはこれで終了だ。二峰、一峰と最後の注意を払い切り抜け、１０：５０　前穂高岳頂上へ着く。頂上に幕営している人がいて驚く。

【前穂高岳頂上にて】

【奥穂高岳】

この後は、奥穂高岳～白出のコル～涸沢だ。しかし、奥穂高岳が遠い。頑張って早くビールを飲むぞ！私のアイゼンにアンチプレートが付いていないので、白出のコルからは、団子を払い落としながら下るが途中で何度も転ぶ。雪が緩むと急に出来てしまう。途中から尻セードで滑り降りた。怖いくらいスピードが出る。快感！
１２：５５奥穂高岳。１３：２０白出のコル。１４：３０涸沢。

涸沢で登頂記念を祝して、おでんとビールで乾杯をする。前穂北尾根は面白い！
明日は、明神の基部バットレスまで行く予定だ。相当頑張らねばいけない。
起床２：３０と決まる。８時間は寝たいからと１８：３０に寝た。周りが明るい。目出帽で目隠しして眠る。暗くすると気持ちよく寝られた。

５／４（月）晴
涸沢４：３５出発。本谷橋でアイゼンを外す。屏風岩に気になる氷爆が。斎藤さんと小藤さんが登りたいな～！と羨ましげに眺めていた。また、今度は屏風をやろうと二人で誓っていた。全部アブミルートだって。すごい人達だ・・・。

【屏風岩の氷爆：１００mほど】

６：２０横尾、７：１５徳沢。明神は水場が無いからと徳沢で補充する。８：０５明神着。大休憩を取り、いざ明神岳へ。明神橋を渡り右手の養魚場（跡？）を超えてからは慎重に赤布を追う。（追っているはずだった）下宮川谷を上る。途中から赤布が見えなくなったが、踏み後があったので、そのまま谷のガレ場を登りつめると、コルと思しきところへ出た。しかし、五峰の直下だ。これ以上進むには懸垂をしなければいけない。どうもおかしい。地形を良く見直す。どうも上りすぎてしまったようだ。右手前方に見える雪稜がヒョウタン池周辺のようである。今日は頑張ってもヒョウタン池までしか行けない。そうすると、明日中に上高地へ下山出来ない。Ｖ峰に幕営か？明日は天気が下り坂で心配だ。相談した結果、今回は前穂北尾根の感激があるので、明神岳東稜は次回に回すことにして、今回、何故？どこで？道を間違えたのか調べることにした。懸垂下降して上宮川へ。少し下ると宮川のコルへ出た。

【宮川のコル：５０mほど下部より】

赤布に従い下っていく。

【下宮川谷からのトラバース地点：
　悔し泣き？の斎藤さん】

下宮川谷からのトラバース地点に着く。良く見るとテープが何箇所もある。

【トラバース地点上部】

考えてみると、トラバース地点の少し上部で右岸の踏み跡が消えて歩けなくなる。谷にはずっと雪が残っていて苦しいところだ。丁度下を俯いて歩いていたところだ。踏み後頼りではなく地形をもっとみて歩けば良かったと反省する。
今日は上高地キャンプ場に泊まり大反省会を行うことになった。嬉し悔しい話で盛り上がったのは言うまでも無い。ビールを２．５Ｌ。ウイスキー少々。その他・・・・。
上高地は、５００ｍｌのビールが３００円とお手軽価格であったのが更に嬉しい気分にさせてくれる。明日は帰るだけだ。
いつの間にか寝込んでしまった。

５／５（火）晴　後　雨
起床を７：００と決めたが、習性で４：３０に起きてしまった。朝の散歩としゃれ込む。一人なのがちょっと寂しい。２人はきっちり７：００まで寝ていた。流石だ。
朝飯を食べ、のんびりと片付けをして
１０：００頃帰路につく。
朝は晴れていたが、帰り頃には雲が多くなってきた。昼頃には雨もポツリポツリ。
行けたかもしれないが、無理することは無いと自分達に言い聞かせることにした。大した渋滞も無く夕方前に愛甲石田駅着。

今回は、膝も痛み出さず無事に行動出来たことでホッとした。また、久しぶりの斎藤さんと初めての小藤さんとの山行だったが、とにかく、行動中もオフ時も非常に楽しく過ごせたのが何より良かった。多謝！

是非、明神岳東稜はリベンジしてみたい。

参考文献：
　チャレンジ　アルパインクライミング

地図
　１／２５，０００　穂高岳